

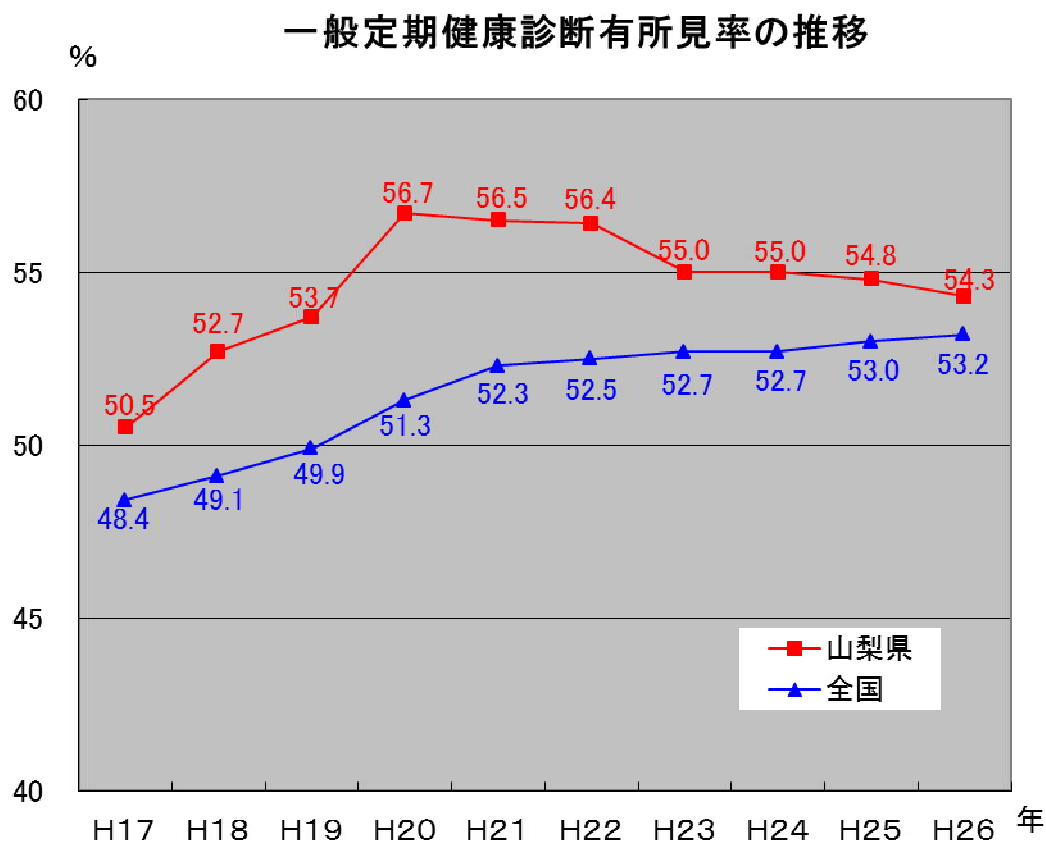
平成26年 健康診断実施結果

- 1 [定期健康診断有所見率の推移](#) (下記1)
- 2 [定期健康診断有所見率の検査項目別比較](#) (下記2)
- 3 [定期健康診断有所見率の業種別比較](#) (下記3)
- 4 [特殊健康診断有所見率の推移](#) (下記4)
- 5 [特殊健康診断有所見率の対象作業別比較](#) (下記5)
- 6 [じん肺健康診断有所見率の推移](#) (下記6)

1 定期健康診断有所見率の推移

定期健康診断における有所見率は、全国・山梨県内ともに50%を超えている。

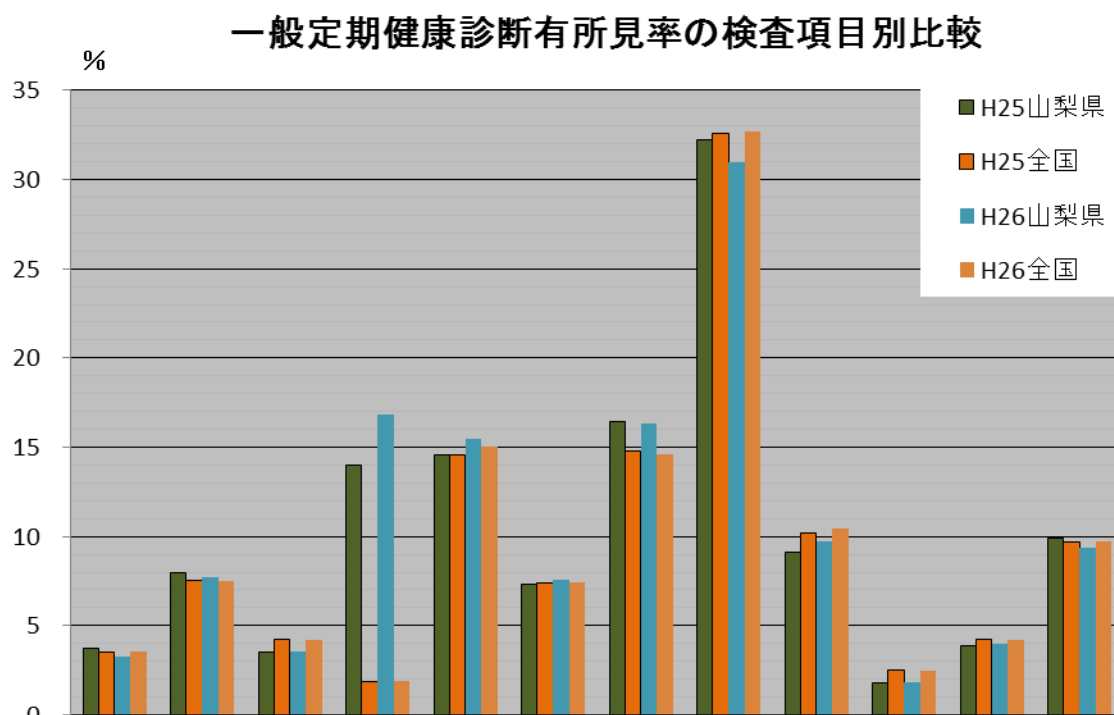
山梨県内の有所見率は、平成14年に全国を上回り、平成17年には50%を超えた。その後、悪化傾向にあったが、平成21年からは改善傾向に転じている。



(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条、規模50人以上)の集計結果による。

2 定期健康診断有所見率の検査項目別比較

山梨県内の検査項目別の有所見率を高い順にみると、血中脂質検査(30.9%)、喀痰検査(16.8%)、肝機能検査(16.4%)、血圧(15.4%)、血糖検査(9.7%)の順となっている。特に、血中脂質検査の有所見率は全国・山梨県内とも30%を超えている。



(単位:%)	聴力 1000 Hz	聴力 4000 Hz	胸部 X線 検査	喀痰 検査	血圧	貧血 検査	肝機能 検査	血中脂 質検査	血糖 検査	尿 検査 (糖)	尿 検査 (蛋白)	心電図 検査
H25山梨県	3.7	8.0	3.5	14.0	14.6	7.3	16.4	32.2	9.1	1.8	3.9	9.9
H25全国	3.5	7.5	4.2	1.9	14.6	7.4	14.8	32.6	10.2	2.5	4.2	9.7
H26山梨県	3.2	7.7	3.5	16.8	15.4	7.6	16.4	30.9	9.7	1.9	4.0	9.3
H26全国	3.6	7.5	4.2	1.9	15.1	7.4	14.6	32.7	10.4	2.5	4.2	9.7

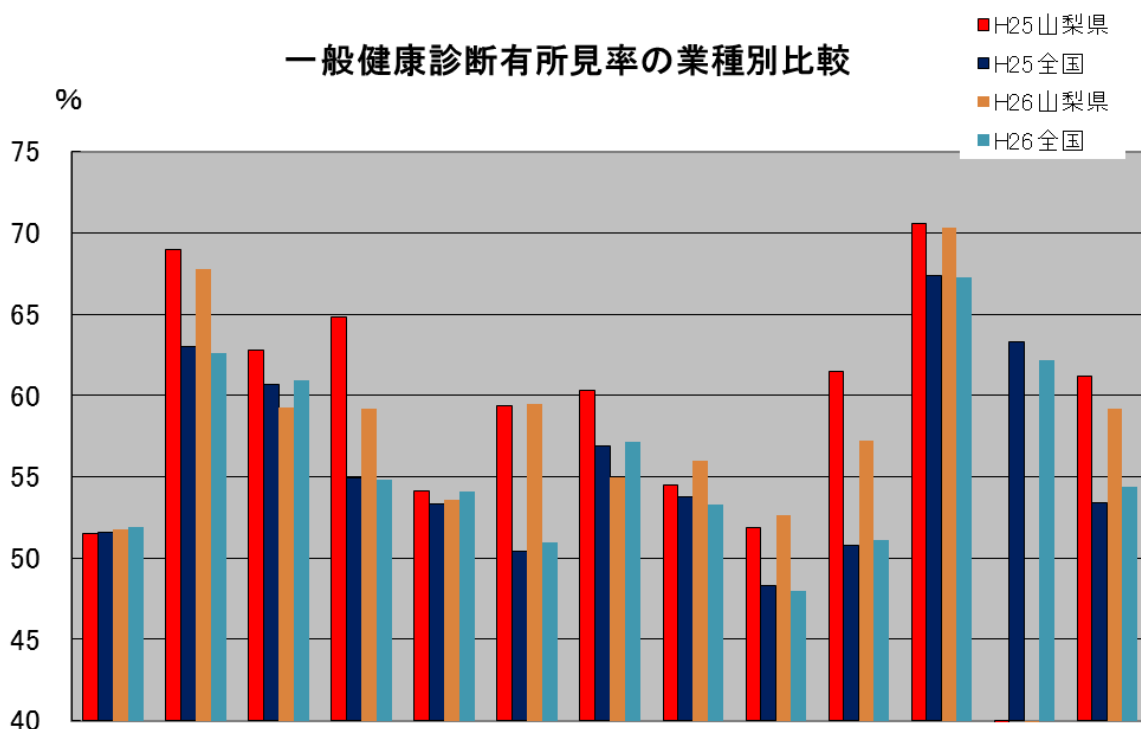
(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条、規模50人以上)の集計結果による。

3 定期健康診断有所見率の業種別比較

山梨県内の業種別の有所見率を高い順にみると、清掃・と畜業(70.3%)、建設業(67.8%)、金融・広告業(59.5%)、運輸交通業(59.3%)の順となっている。

平成26年と25年を比較すると、山梨県内の有所見率は、全体に改善傾向を示し、特に貨物取扱業で5.6ポイント、通信業で5.3ポイント改善した。一方、教育・研究業、保健衛生業、製造業及び金融・広告業ではわずかに悪化した。

全国と比較すると、金融・広告業、接客娯楽業、建設業の有所見率が特に高くなっている。



(単位:%)	製造業	建設業	運輸交通業	貨物取扱業	商業	金融・広告業	通信業	教育・研究業	保健衛生業	接客娯楽業	清掃・と畜業	官公署	その他の事業
H25山梨県	51.5	69.0	62.8	64.8	54.1	59.4	60.3	54.5	51.9	61.5	70.6		61.2
H25全国	51.6	63.0	60.7	54.9	53.3	50.4	56.9	53.8	48.3	50.8	67.4	63.3	53.4
H26山梨県	51.8	67.8	59.3	59.2	53.6	59.5	55.0	56.0	52.7	57.2	70.3		59.2
H26全国	51.9	62.6	61.0	54.8	54.1	51.0	57.1	53.3	48.0	51.1	67.3	62.1	54.4

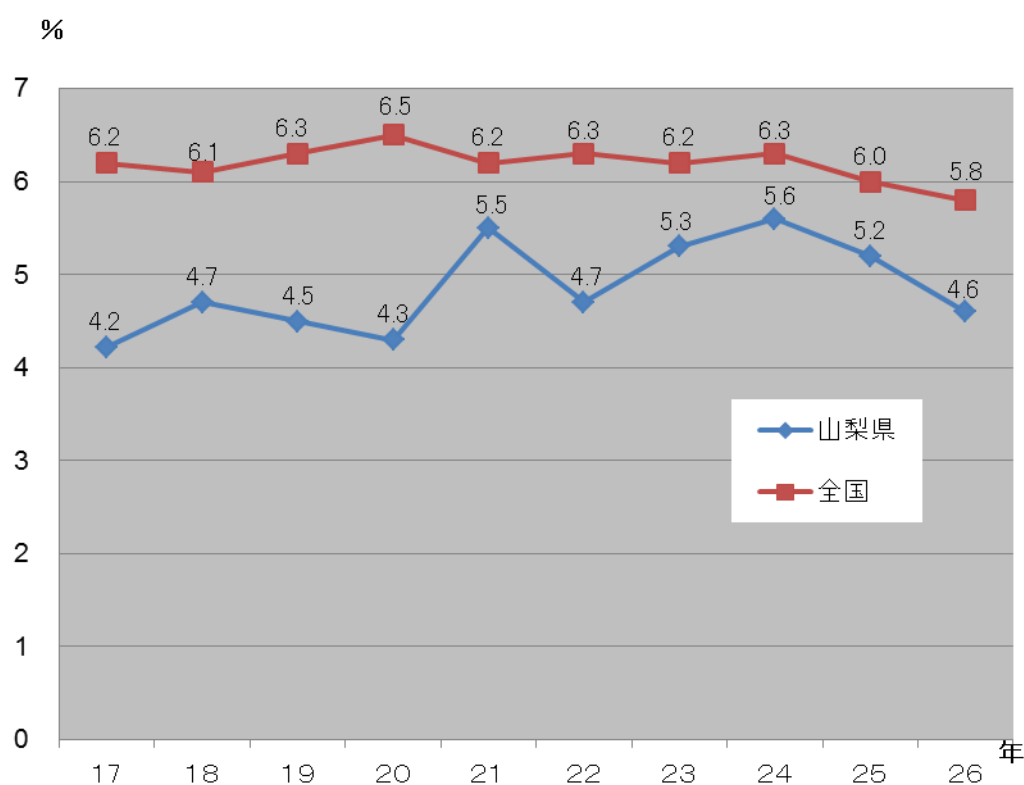
(注) 「定期健康診断結果報告書」(労働安全衛生規則第52条、規模50人以上)の集計結果による。

4 特殊健康診断有所見率の推移

特殊健康診断における有所見率は、全国では概ね6%台の横ばいの状況が続いていたが、平成26年には5%台に改善した。山梨県内においても近年5%前後で推移していたが、26年には4%台に改善した。

山梨県内の有所見率は、全国より低い状況が続いており、平成26年は全国より1.2ポイント低い4.6%となっている。

特殊健康診断有所見率の推移

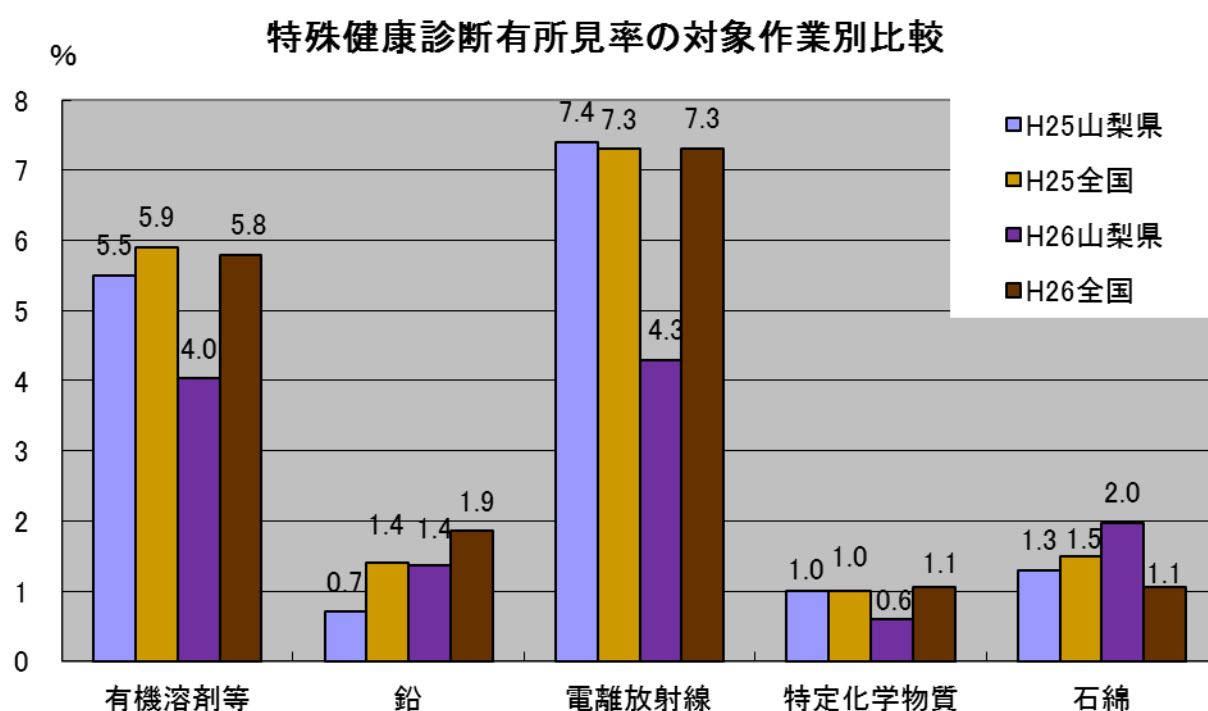


(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。

5 特殊健康診断有所見率の対象作業別比較

特殊健康診断における有所見率を対象作業別にみると、全国・山梨県内ともに有機溶剤等及び電離放射線の有所見率が他の特殊健康診断結果よりも高くなっている。

平成26年と25年の山梨県内の有所見率を比較すると、有機溶剤等、電離放射線及び特定化学物質が改善した一方、鉛及び石綿が悪化している。

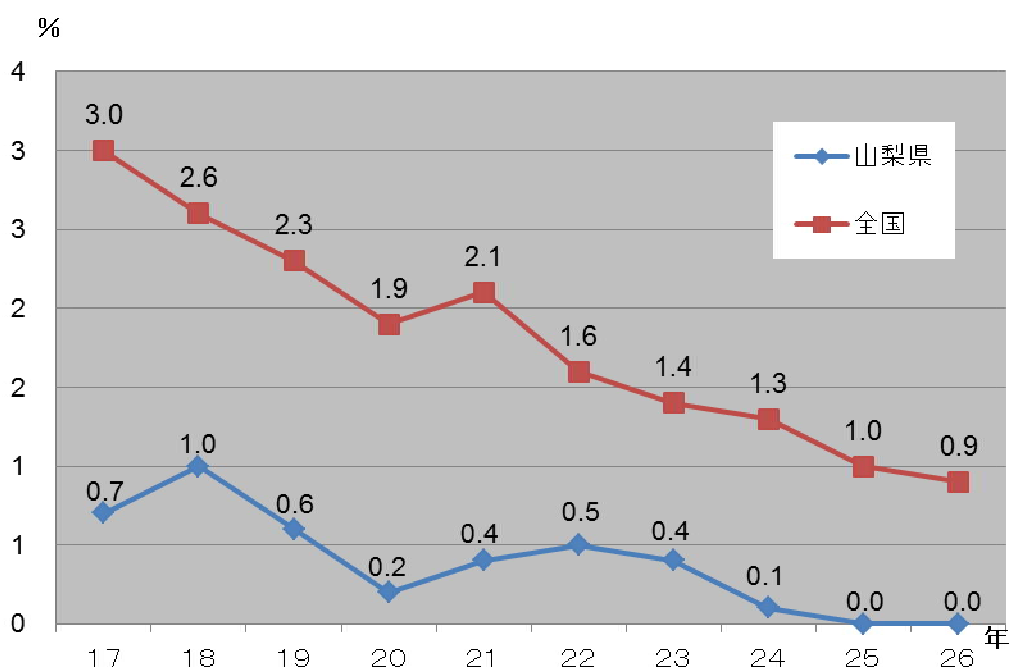


(注) 各特殊健康診断結果報告書の集計結果による。

6 じん肺健康診断有所見率の推移

じん肺健康診断における有所見率は、長期的には改善傾向にあり、全国では平成26年に1%を下回った。山梨県内についてみると、従前から全国と比べ有所見率は低く、近年は1%未満で推移しており、平成26年は0.0%となった。

じん肺健康診断有所見率の推移



(注)1 「じん肺健康管理実施状況報告」(じん肺法施行規則第37条)の集計結果による。

2 本統計中には、随時申請(じん肺法15・16条)によるものは含まれていない。